

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製 品: ティッシュ・テック ホルマ GO ホルムアルデヒドテストキット
(Tissue-Tek FormaGO Formaldehyde Analysis Kit)

製造コード: 9152

会 社: サクラファインテックジャパン株式会社

住 所: 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-1-9

担当部門 : 開発企画部

連絡先住所: 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1 浜町センタービル

電話番号: 03-5643-2629 フリーダイヤル: 0120-392-874 FAX番号: 03-5643-3382

e-mail: general@sakura-finetek.com

推奨用途: ティッシュ・テック ホルマ GO ホルマリン中和剤で処理後の残留ホルマリンの半定量測定

2. 危険有害性の要約

本キットは、A)テスト試薬、B)ホルムアルデヒド試験紙やプラスチック容器から構成されており、危険有害性の要約は A)テスト試薬に関するものである。

GHS 分類

健康に対する有害性	皮膚腐食性・刺激性	区分1A
	眼に対する重篤な損傷・刺激性	区分1
	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分1
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分3
	物理的危険性	金属腐食性

上記に記載のない分類項目については、分類対象外又は分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル: 腐食性、健康有害性



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報: H314-重篤な皮膚の薬傷、眼の損傷のおそれ。

H318-重篤な眼の損傷。

H370-呼吸器への障害のおそれ。

H412-水生生物に有害。

安全対策 : 保護用具(保護メガネ、保護手袋、保護衣など)を着用すること。

取扱い後はよく洗うこと。

使用時は飲食、喫煙をしないこと。

蒸気等を吸入しないこと。

環境への漏洩を避けること。

応急措置 : 皮膚等に付着した場合には、直ちに汚染された衣類を脱ぎ、皮膚をシャワーで洗い流すこと。

汚染衣類を再使用する場合は洗濯をすること。

眼に入った場合には、水で注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

飲込んだ場合には、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

吸入した場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
暴露等をした場合には、直ちに、医師に連絡すること。

- 保管 : 施錠して保管すること。
廃棄 : 廃棄する場合には、各都道府県、自治体の規制に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品、混合物の区分 : 混合物

本キットは、A)テスト試薬、B)ホルムアルデヒド試験紙及びプラスチック容器から構成されている。

A)テスト試薬 : 混合物

成分		
化学名	水酸化ナトリウム	水
化学式	NaOH	H ₂ O
CAS No.	1310-73-2	
化審法官報公示番号	(1)-410	
含有量	55%未満	45%以上

B)ホルムアルデヒド試験紙 : 混合物

プラスチック片(ストリップス)の一端にホルムアルデヒドと反応する指示薬が浸み込んだ
小さなセルローズ(CAS No. 9004-34-6)製ろ紙片が付いている。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 患者を危険な場所から離し、新鮮な空気を吸わせる。必要に応じて、心肺蘇生術を施して、患者を暖め、安静にする。そして速やかに医師の診断を受ける。
- 皮膚に付いた場合 : すぐに汚染された衣服や靴を脱がせる。身体に触れた部分は勢い良い流水で 15 分間洗い流し、症状が続くようなら医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : すぐに流水で 10~15 分間洗い流し(コンタクトレンズを着用している場合は外すこと)、直ちに医師の診断を受ける。
- 誤飲した場合 : 口をすすぐこと。無理に嘔吐させない。直ちに医師の処置を受けること。

5. 火災時の措置

適する消火剤ないし消火方法: 本キットの包装や試験紙は紙とプラスチックであり、可燃性である。火災のさいの消火剤ないし消火方法としては、散水、一般的な消火泡、粉末・炭酸ガス消火器などがある。

火災から身を守る方法: 多量に燃えた場合、必要に応じて呼吸装置の付いた全身を保護する服を着る。

火災と爆発の危険性: 本キットの”テスト試薬“の水酸化ナトリウム水溶液が軽金属(Al、Sn、Zn)と接触すると、水素ガスが発生し、引火すると火災ないし爆発を引き起こすことがある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項: 屋内での処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した箇所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

保護具及び緊急時措置: 作業のさい適切な保護具を着用。また飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項: 漏出した本キットの”テスト試薬“の水酸化ナトリウム水溶液が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

回収や洗浄: 化学的に不活性な物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、空容器に回収する。また漏出して汚れた箇所は多量の水で洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意:

本キットの”テスト試薬“は強アルカリ性の水酸化ナトリウムであり、眼および皮膚への接触を避ける。保護メガネや保護手袋を着用し、眼や皮膚を保護する。

テスト試薬の容器を転倒させたり乱暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにする。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗う。

混触禁止物質: 本キットの”テスト試薬“の水酸化ナトリウム水溶液は酸性物質ないし溶液との接触ないし混和を避ける(発熱し、液が飛散するので)。また軽金属(Al, Sn, Zn)と接触を避ける(水素ガスが発生するため)。

保管上の注意:

本キットは冷蔵(2~8℃)、乾燥保存する(試験紙の指示薬が温度や湿気によりその品質が影響を受けるため)。水酸化ナトリウム水溶液のテスト試薬は、密栓して保存する(二酸化炭素が溶け込むのを防ぐため)。

8. 暴露防止及び保護措置

曝露限界(水酸化ナトリウム):

日本産業衛生学会: 2mg/m³

設備対策: 発生源を密閉化する、または局所排気装置を使用する。

取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具: (眼、皮膚、顔面): 保護眼鏡、不浸透性保護手袋など。

(保護着): 長袖作業着(つなぎ)またはエプロン、耐薬品性長靴、その他の身体保護着。

9. 物理的及び化学的性質

1) 本キットの”テスト試薬”(水酸化ナトリウム水溶液)

外観: 無色の液体

臭気: 無

pH値: 14

融点・凝固点: データなし

沸点: データなし

比重: データなし

蒸気圧: データなし

溶解性: 水と任意の比で混和

2) 本キットの”ホルムアルデヒド試験紙”

外観: 個体のプラスチック片(ストリップ)に指示薬が浸み込んだ小さなセルローズ片が付いている。

臭気: 無

融点・凝固点: データなし

溶解性: プラスチック片(ストリップ)及びセルローズ片は水に不溶

10. 安定性及び反応性

安定性: ホルムアルデヒド試験紙は温度や湿度が高いと品質に影響が生じる。従って冷蔵(2~8℃)、乾燥保存をする。

反応性: 水酸化ナトリウム水溶液のテスト試薬はアルミニウムなどの特定金属と反応し、水素を発生する。また酸と混和すると発熱し、液が飛散する場合がある。

接触を避ける物質: アルミニウムなどの金属類、酸

11. 有害性情報

”テスト試薬“に含まれる水酸化ナトリウムについて記す。

毒性情報:

LD₅₀(経口, Rabbit): 325mg/kg

皮膚腐食性: 人の皮膚に対して強度の腐食性を引き起こす。

刺激性: 皮膚に対して刺激性を有する。また眼に対して重篤な損傷を引き起こす。

呼吸器系、気道を刺激し肺水腫を引き起こす。

発癌性: 米国労働安全衛生法 OSHA が指定している発癌性ないし発癌性リスク化学物質は、本キットには含まれない。

12. 環境影響情報

分解性: データなし

水生毒性: 水生生物に有害

魚毒性: 強アルカリ性のため、水生生物に有害な影響を与える可能性がある。

水酸化ナトリウムとして、甲殻類(オオミジンコ) LC₅₀/48h=40.4mg/L

13. 廃棄上の注意

廃棄前に可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性レベルを低い状態にする。
廃棄においては、関連法規、地方自治体の基準に従うこと。
廃液は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理して下さい。

14. 輸送上の注意

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込む。その他、毒劇法に従う。

ARD/RID(陸上) 国連番号UN 3316
品名: Chemical Kit(化学検査キット)
国連分類: 9
容器等級: II

IATA(航空) 国連番号UN 3316
品名: Chemical Kit(化学検査キット)
国連分類: 9
容器等級: II

IMDG(海上) 国連番号UN 3316
品名: Chemical Kit(化学検査キット)
国連分類: 9
容器等級: II
海洋汚染物質: 非該当

15. 適用法令

消 防 法 : 非該当
毒物劇物取締法: 劇物
労働安全衛生法: 水酸化ナトリウムは名称等を表示すべき危険物及び有害物(法 57 条、施行令第 18 状)、通知すべき危険物
及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)
PRTR法 : 非該当
海洋汚染防止法: 水酸化ナトリウム 施行令別表第1有害液体物質
水質汚濁防止法: 指定物質
危険物船舶運送及び貯蔵規則腐食性物質: 危険則第3条危険物告示別表第1
航空法腐食性物質: 施行規則第 194 条危険物告示別表第1

16. その他の情報

1) 引用文献

- ① 化審化学物質、通商産業省基礎産業局 化学品安全課監修 化学工業日報社, 1991
- ② 毒劇物基準関係通知集 改訂増補版 厚生省薬務局安全課監修 薬務広報社, 1991
- ③ 化学物質の危険・有害物便覧、厚生労働省安全衛生部監修、中央労働災害防止協会, 2000-2001

この安全データシートは米国の製造元の安全データシート SDS 及び上記の引用文献等に基づいて作成していますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには十分注意して下さい。また、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

卸店: